

2023/6/10(土)PERCHE O+学習支援「子ども農業部」2回目も無事終了いたしました

●子ども参加者：18名 ●保護者参加者：5名 ●ボランティアメンバー：4名

●支援団体様・協力校様

多聞台ふれあいのまちづくり協議会様・神戸市立多聞台小学校様

今年5月に「子ども農業部」をスタートし、本日は2回目の開催です🍀

ミーティングで話し合った内容に沿って、子どもたちにとって、おそらくほとんどの子が1から始める初めての農業となります🍀🌱

いちご狩りや、おいもほり、田植え、稲刈り、など農業の工程のどこか1日。の、経験はあるのではないのでしょうか？

PERCHE O+では、「全部自分たちで決めていく。」が合言葉です

子どもたちは、土づくりについても、必要な肥料についても、自分たちで調べました。もちろん、育てる野菜や果物の適正栽培時期についても。

今は、インターネットを開けばなんでも情報が手に入ります。初めてのことについて調べて知ることや、他者の経験談をも見ることで疑似体験も出来てしまいます。

でも、自分で経験することだけは誰にも変わりはありません。その経験は、子供達にとって何ものにも代え難い貴重な経験となって『自分』を作る種となると信じています🍀

土づくりと、土どめ作業に時間を要し、今回は種まき植付けまではできませんでしたが、次回6/17(土)に行いたいと思います🍀🧠🍀🍀

これからの子どもたちと、農作物の成長を見守ってください
次回も、子どもたちの笑顔に会えるのを楽しみにしています！





2023年6月10日 PERCHE O+ 学習支援「子ども農業部」2回目

前回のキックオフミーティングで、何を育てる。どうやって？などをみんなと話し合いました。
まあ、今日はいよいよ話し合ったことを実践していく日です。

「土づくりが大事」子どもたちが自分たちで話したことを参考に元々ある土に、肥料を混ぜることになりました。
たくさん必要な土や肥料の種類の家が出ましたがその全てが混ざった混合肥料を購入し、土壌に混ぜます。

実は、今日を迎えるまで畑には厄介な雑草の植物がありました、、、結構大きかったので、地域の方の力をお借りして1日かかりで整備。石やゴミもゴロゴロ。。。土も硬くなっているのを耕運機を使って土を混ぜれる状態までしてくださりました。暑い中、本当にありがとうございました！

みんな影のご協力に感謝しながら、みんなにはやわらかくなった土の感触を感じてもらいました。

まずは足でふんでみます。「うわー！柔らかいー！」
「ふかふかやっ！！」「気持ちいいー！！」
踊り出した子もいましたw
自然の力、大地の力で本当にすごいと思った瞬間でした。

しっかり土の感触を感じてもらった後は、いよいよ肥料を混ぜていきます。
いざみんなに攪拌（かくはん：混ぜること）をしてもらうこと

10分・・・
「疲れたー」「腕が痛くなってきたー」
「腰がっっ！」（若いのに！？笑）いろんな声が聞こえてきます。
そしてさらに10分後・・・

汗だくなったある子が
「野菜作るのが、こんなに大変やと思わなかった・・・」
ぼやっと聞こえたその言葉

『体験』が『経験』に変わる瞬間

しんどい思いをして、土を作る。始めの工程からすでに大変な思いも当然前に売っているスーパーの農産物に感謝してあげたいかな？と思います。

土作りの後は、「土どめ」（どどめ）作業です。

「学校で育てるなら、ヘルシュの畑だとわかるようにレンガなどで囲んだほうがいいと思う。」これも子どもたちが考えたことです。
荒らされないように。土が流れてしまわないように。

用意したブロックの数は、50本！！
かなり重いブロックを見て
なぜかテンションの上がる子どもたち。笑

「重いから持てないかも・・・でも、やってみたい！」
知的な好奇心が発動しましたw
1年生でさえ、「持ってみるー！！」みているごっちゃんも楽しかったです。上の学年の子どもたちがさりげなく寄り添っている場面もたくさんみられました。

コロナ禍のおうち時間に、家庭菜園が流行っていましたがどうして誰かと協力し、試行錯誤することも大切な学びになると思っています。

今回は、『土づくり』『土どめ』までの作業で時間が経ってしまったので『植えつけ』種まきは次回のお楽しみになりました。

最後に、マンゴーとドラゴンフルーツの苗木を見せるとはじめてみるものに興味津々！！

来週も、みんなの初めてに会えるのを楽しみにしています😊

Perche O+ Tamori Takuma